

## 政策委員会・政策専門部会合同会議 開催!

— 令和5年度福島県予算要求に向けて検討スタート —

連合福島は、5月12日(木)、「2022年政策委員会・政策専門部会合同会議」を開催した。冒頭、今野泰連合福島会長からは「2022年度がスタートし、これに向けて国、県、市町村も予算がすでに成立している。県内は、新型コロナ感染の長期化により、経済・景気へと波及し、ロシアのウクライナへの侵攻は原油、原材料高騰に拍車をかけている。さらに3月に発生した福島県沖地震のような相次ぐ自然災害に対し、早期復旧や減災



挨拶する連合福島 今野会長

への新たな課題解決が

急がれる。このような課題について当事者意識を持ち、提言することが政治参画につながる。県の総合計画も参考に検討を進めていただきたい。」と挨拶した。

第一部の特別講演では、今井先生より「政策制度要求のために一県予算を読み解く」と題した講演をいただいた。2022年度の地方財政計画の概要及び2010年からの10年間の福島県決算の比較と合わせ新年度当初予算の特徴を分析。「2010年と比較して決算額が2倍程度、



講演する 今井 照 先生

投資的経費も3倍程度」、「基金の流れが非公開」、また、「福島県では財政調整基金や減債基金を毎年度の当初予算に繰り入れた予算編成で、通常の前編成と相違する理由を挙げ、基金の出入りが分かりにくく、目的に合致した使われ方の確認が必要」と指摘した。



熱心に傾聴する参加者

第二部の専門部会では、「産業・雇用・労働」「行財政・防災、WLB・男女共同参画・子育て・教育・福祉」「情報通信・交通・環境・資源エネルギー」4つの専門部会と「保健・医療・介護」連絡会にそれぞれ別れ、部会の進め方や前年度要請に対する県回答の検証など、協議を行った。

今後、専門部会が継続的に開催されて、8月下旬までとりまとめを行う。そして県新年度予算への反映へ提言書を策定する。



専門部会での検討